

懸賞論文・文芸作品コンクール

前田さんが文芸鳳賞

2016年度懸賞論文・文芸作品コンクール(学生部主催)の文芸作品部門で、最優秀の鳳賞に前田萌香さん(文2)の「異端村野のおはなし」が選ばれた。懸賞論文部門は鳳賞該当なし。ベトナム人特別聴講生のグエンさんが優秀賞に輝いた。留学生の入賞は初めて。



鳳賞の前田さんに阿藤学生部長から賞状と記念品が手渡された

懸賞論文部門に15本、文芸作品部門に21作品の応募があり、両部門で16人が入賞。授賞式が生田キャンパスで12月8日に行われ、阿藤正道学生部長から賞状と記念品が贈られた。

鳳賞の前田さんは、ある少年の人生を同級生の少女の視点から描いた。小説は2作目で10日ほど書き上げた。「詩や俳句などにも挑戦し、感性を磨いていきたい」と話す。

柘植文学賞 曾根川さん

故柘植光彦名誉教授の遺志を継ぐ柘植光彦文学論文部門審査委員長の廣川和花文学部准教授は評価理由として「切実な問題意識と日本語で書き上げた努力」を挙げた。

留学生初の入賞

特別聴講生 グエンさん

留学生として初めて入賞したグエンさんの論文は「マイナンバー制度がもたらす社会的影響」だ。学費や生活費のため、アルバイトを掛け持ちするベトナム出身の友人たちがマイナンバー制度についてこぼすのを聞き、文献や内閣府など官庁のホームページを参考に考察した。



ベトナム国家大学ハノイ人文社会科学部3年生。3年後期を休学し、昨年4月から人間科学部の特別聴講生になった。指導の嶋根克己教授は同コンクールへの応募を推奨しており、論文の書き方を覚えてもらい、日本語の力も上がると言われて挑戦した。まさか入賞なんて顔をほころばせる。

3月下旬に帰国し、復学後は日本やベトナムの社会問題を研究する専門家をめざす。

- 【佳作】賞金2万円
 - ▽藤原華(人間科学3)
 - 「人々の関わりは希薄化したのかー無縁社会の中でつながりを感じられるコミュニティ」▽芝田隆典(同)「ソーシャルメディアが社会運動に与える影響ー情報化時代の社会的紐帯を考へる」▽鳥村さくら(同)「学歴社会を生き抜くために」
- ◆文芸作品
 - 【優秀賞】賞金5万円
 - ▽河崎嵩士(商4)「魔法の密室」▽鈴木渚々美(文2)「美しい庭」▽岡田大樹(院文博2)「盤上の異人」
 - 【佳作】賞金2万円
 - ▽秋山彰太(文4)「ヴァイナスフォール」▽島崎望(同)「かわいいうりして、あの子」▽菊池結利奈(同)「結切」▽袴田真尚(院文博2)「ぶっ壊れねじねじ」▽伊藤希(文4)「望まれ加害者」

インドネシアで交流

二宮さん(法3) 日本語パートナーズ



二宮真樹さん(法3)は2015年後期に半年間休学し、ASEAN各国の中学高校で日本語の授業の補助をする「日本語パートナーズ」としてインドネシアで活動した。「教える」ことの意義と楽しさを実感した5カ月間を胸に、教師を目指す。

教師の目に付きにくい生徒のサポートを心掛け、積極的に話し掛けた。日本語が苦手な授業中も不真面目だったある男子生徒は、二宮さんの前に現場を体験したいと、国際交流基金が実施する日本語パートナーズに応募した。

授業のほかにも、浴衣着付けや茶道、書道など日本文化も紹介。中でもたこ焼き作りが大好評だった。活動を通し「自身自身が日本について再認識できた」と振り返る。赴任時はあいさつ程度だったインドネシア語はみるみる上達し、3カ月ほどたったころには、生徒から「バグース(いいね)」と褒められた。日本人嫌いを公言する相手とも話し合うことで理解が深まった。3月の帰国時には、饅頭の品で荷物が増えたほど。活気があふれるインドネシアでの日々は今でも二宮さんの支えになっている。

中国雲南省に滞在 「豊かさ」を考えた

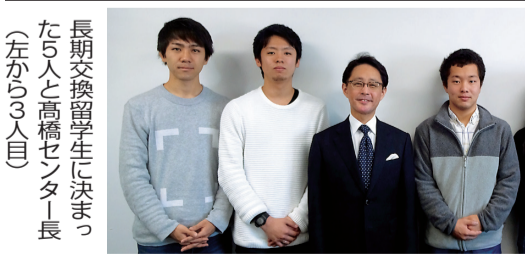
「NGO論」 小牧さん(経済2)

「中国への関心が一層深まりました」。経済学部「NGO論」(狐崎知己教授)で、小牧恵介さん(2年次)は昨夏、NGO(非政府組織)のスタディーツアーに参加、中国雲南省で少数民族の暮らしを肌身で体験してきた。「NGO論」は、途上国の人々の暮らしとNGOの活動状況を経験する特徴ある授業。国際開発協力に取り組むNGOを



対象に、欧米や日本のNGOの歴史、理論、活動事例や課題、調査研究の手法などを少人数の演習形式で学ぶ。夏期休暇中にはNGOが主催する海外スタディーツアーに参加、今年度は14人が中国、インド、フィリピン、タンザニア、メキシコの5カ国でスタディーツアーに参加、雲南省の昆明市と老木壩村に合計11日間滞在した。

雲南省は、ミャンマー、ラオス、ベトナムに接しており、中国と東南アジアを結ぶ重要な要地だと思えました。一方で、「村の人々は伸び伸びと暮らし、現状に不満を持っていない様子が見えない。人の幸せはお金で決まるのか、考えさせられました。小牧さんは農家の男性の満面の笑顔をカメラに収めた。「もっと勉強して、また中国を訪ねたい」



小牧さんが撮影した中国人男性の写真

17年度第1期長期交換留学生に5人

2017年度の長期交換留学生及び交換留学奨学生(第1期)に5人が決まった。1月12日、留学許可書交付式が生田キャンパスで行われ、高橋裕国際交流センター長から許可書が手渡された。

- 留学先と期間、氏名・学部・専攻、学年は次の通り。(敬称略)
- リヨン政治学院(フランス) 2月5日~18年1月
- ▽下村直之(経済3)
- ▽長坂早緒(院文博1)
- パルセロナ大学(スペイン) 2月5日~18年2月
- ▽榎間翔太(経済3)
- マルティン・ルター大学ハレ・ウィッテンベルク(ドイツ) 3月5日~18年2月
- ▽小池駿(文2)
- 檀国大学(韓国) 2月5日~18年2月
- ▽金理紗(商2)

長期交換留学生に決まった5人と高橋センター長(左から3人目)